

教科等横断的な学びを実現するための単元（題材）構想シート

単元（題材）名

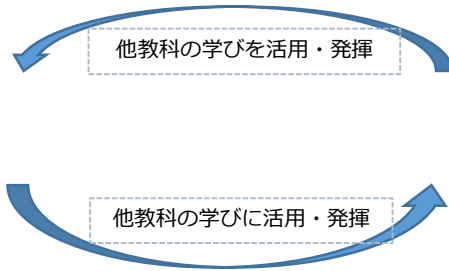
つながりを整理してみよう！



- <検討方法例>
- ・他教科等の教員に聞く。
 - ・学年部会で相談する。
 - ・年間指導計画や単元配列表を見合う。
 - ・教科書を見合う。
 - ・子どもに聞く。

P①担当教科等で育成する資質・能力について確認する。	
<内容>	<資質・能力>

P③教科等間の指導内容相互の関連や資質・能力の活用について考える。



P②他教科等で育成する資質・能力について確認する。	
<内容>	<資質・能力>



P④どのような指導で取り組むか考える。
いつ（どのように）

D⑤教科等横断を意識して、授業を行う。



C⑥児童生徒の姿から資質・能力の活用について成果や課題を振り返る。		A⑦事後や次年度に生かせるように改善案をつくり、実施する。
<成果>	<課題>	

教科等横断的な学びを実現するための単元（題材）構想シート

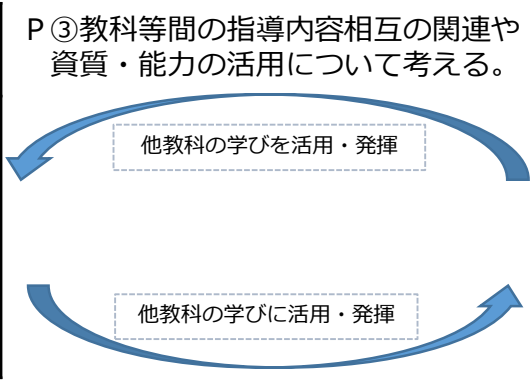
単元（題材）名
 中学校 1 年 国語科「調べて分かったことを伝えよう」

つながりを整理してみよう！



- <検討方法例>
- ・他教科等の教員に聞く。
 - ・学年部会で相談する。
 - ・年間指導計画や単元配列表を見合う。
 - ・教科書を見合う。
 - ・子どもに聞く。

P①担当教科等で育成する資質・能力について確認する。	
<内容>	<資質・能力>
<ul style="list-style-type: none"> ・ふだんの生活の中からテーマを決め、調べる。 ・情報を集め、整理する。 ・構成を考える。 ・調べて考えたことをレポートを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふだんの生活の中からテーマを決める。 ・調べて分かったことを整理する。 ・調べた事実や自分の考えがよく伝わるように、分かりやすい構成でレポートを書く。 ・テーマ、調査結果と考察を対応させて書く。



P②他教科等で育成する資質・能力について確認する。	
<内容>	<資質・能力>
<ul style="list-style-type: none"> ・1年「食文化」（家庭） ・情報カード（総合） ・レポートを書く（総合、理科） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材、伝統料理に関する知識 ・テーマを立てる。 ・調査結果をレポートにまとめ報告する。



P④どのような指導で取り組むか考える。

いつ（どのように）

- ・テーマ設定の場面（生活経験や家庭分野の学習からキーワードを挙げる。）
- ・単元終末（学習を通してどんな力が身に付いたか振り返り、これからの生活や学習にどのように生かすかまとめる。）

D⑤教科等横断を意識して、授業を行う。

<成果>	<課題>
<p>P④により、P①の本単元のねらいにそった資質・能力の活用が図られたか。</p> <p>○生活経験に加え、家庭分野の知識も引き出してキーワードを挙げたことで、テーマを立てることができた。</p> <p>○単元の終末にどのような力が身に付いたか、これからの生活や学習にどのように生かすかまとめたことで、総合の時間にこの単元の学びを発揮しようとする姿が見られた。</p>	<p>△テーマ、調査結果と考察を対応させることについて、さらに活用する場を設定し、定着を図りたい。</p>

P④により、P②へ活用する効果が見られたか。

A⑦事後や次年度に生かせるように改善案をつくり、実施する。

- ・テーマに対する調査結果を踏まえて考察を行うことを総合と理科のみならず、他の教科でも意識して取り組めないか検討する。
- ・レポートを書くスキルについて、学年部で共有する場をもち、他教科での学びに生かせるようにしたい。

教科等横断的な学びを実現するための単元（題材）構想シート

単元（題材）名

小学校3年 社会科「店ではたらく人」

つながりを整理してみよう！



- ・他教科等の教員に聞く。
- ・学年部会で相談する。
- ・年間指導計画や単元配列表を見合う。
- ・教科書を見合う。
- ・子どもに聞く。

P①担当教科等で育成する資質・能力について確認する。

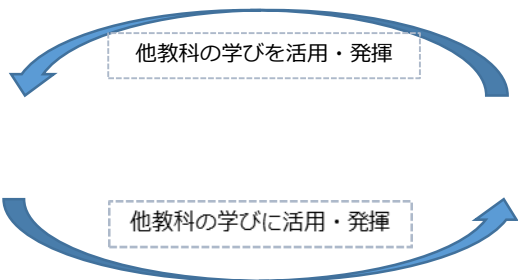
内容

- ・ 買う人の願い調べ
- ・ スーパーマーケット見学

資質・能力

- ・ 販売の仕事の工夫の理解
- ・ 見学・調査したことをまとめる技能
- ・ 販売の工夫を考え、表現する
- ・ 主体的に学習の問題を解決しようとする態度
- ・ 学習したことを社会生活に生かそうとする態度
- ・ 地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚

P③教科等間の指導内容相互の関連や資質・能力の活用について考える。



P②他教科等で育成する資質・能力について確認する。

内容

- ・ 2年「グラフと表」（算数）
- ・ 3年5月「メモ」（国語）
- ・ 3年10月「地域の宝を見付けよう」

資質・能力

- ・ 集計し特徴を考える力
- ・ 大事なことを落とさず聞く力
- ・ 調査したことをまとめる技能
- ・ 主体的に学習の問題を解決しようとする態度

P④どのような指導で取り組むか考える。

いつ（どのように） ・ 買う人の願い調べの場面（2年の時にグラフを書いた経験を想起させる。）

・ スーパーマーケット見学（メモの書き方を想起させる。）

D⑤教科等横断を意識して、授業を行う。

C⑥児童生徒の姿から資質・能力の活用について成果や課題を振り返る。

<成果>

- スーパーマーケット見学の前に国語で学んだメモの仕方を確認したことで、大事なことを落とさずに聞くことができた。短い言葉でメモすることにも慣れてきた。
- グラフを用いて集計することで、買う人の願いを捉えることができた。グラフのまとめ方も定着してきた。

<課題>

△課題解決の仕方については、全体を見通すことがまだ難しい。手順（過程）を丁寧に確認することが必要。

A⑦事後や次年度に生かせるように改善案をつくり、実施する。

☆課題解決の手順（過程）を掲示し、さまざまな教科で子ども自身が意識できるようにしていく。

☆子どもが身に付いた力を発揮することを意識できる声かけをする。
「〇〇しましょう」→「どうしたらいいかな？」